

令和5年度 栄区区民意識調査 結果概要

【調査概要】

- 調査対象：住民基本台帳から無作為抽出した栄区内に居住する18歳以上の市民6,000人
- 調査期間：令和5年11月1日～11月20日
- 調査手法：郵送配布、郵送回収・インターネットによる回答
- 設問数：40問
- 回収数：3,000票（回収率50.0%、うち有効回答票2995票）

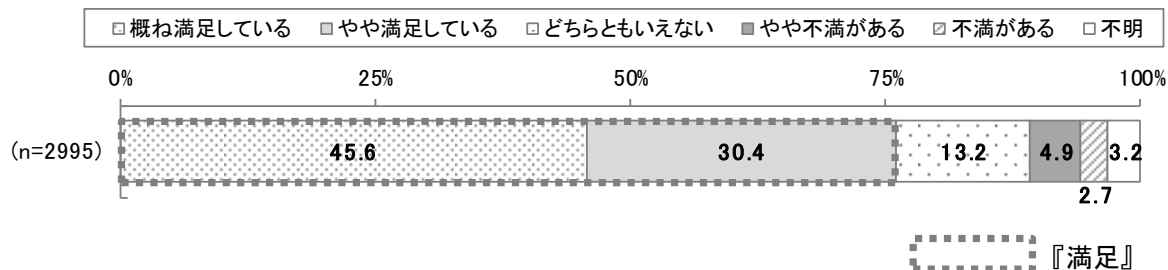
【調査結果】

1. 生活の満足度

(1) 栄区での満足度

- 「概ね満足している」（45.6%）が最も多く、続く「やや満足している」（30.4%）を合わせると8割弱が『満足』していると回答している。一方、「やや不満がある」、「不満がある」の合計の割合は7.6%である。

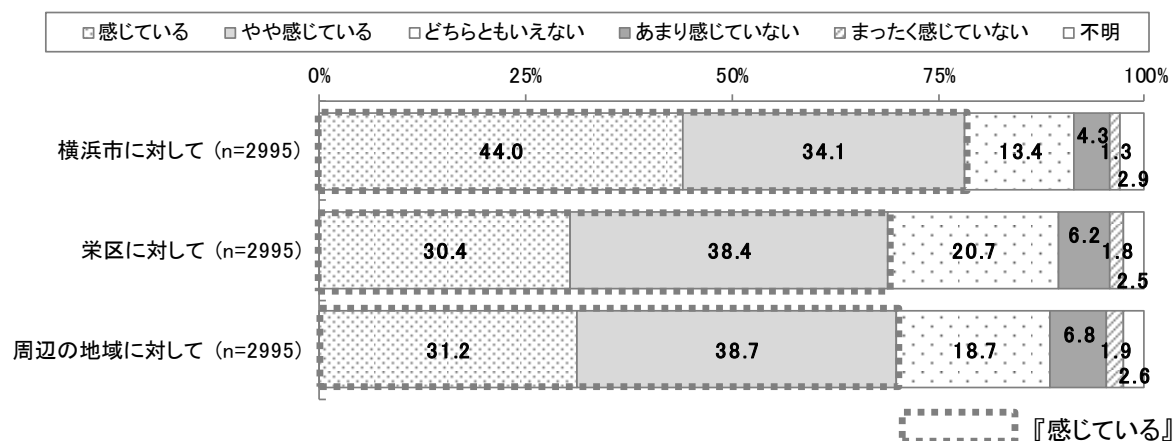
問1 栄区での生活に満足していますか。



(2) 横浜市、栄区、周辺地域への愛着や誇り

- 横浜市に対する愛着や誇りを『感じている』の割合は、「感じている」、「やや感じている」を合わせて78.1%に達する。
- 栄区、周辺地域に対して愛着や誇りを『感じている』の割合は、「感じている」、「やや感じている」を合わせて、それぞれ68.8%、69.9%である。

問2 横浜市、栄区、周辺の地域に対して、愛着や誇りを感じていますか。

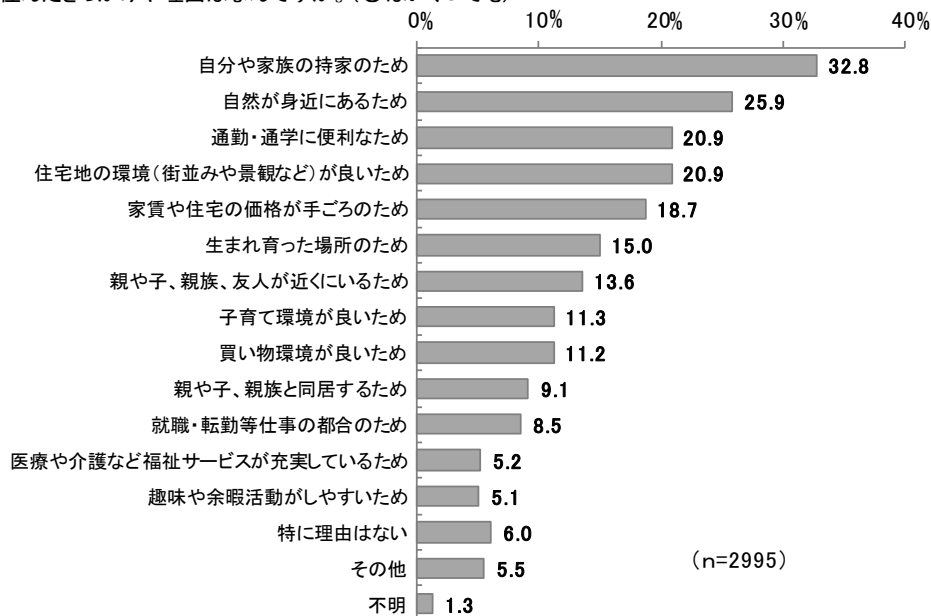


2. 定住意向

(1) 栄区に住んだきっかけや理由

- 「自分や家族の持家のため」(32.8%)が最も多く、「自然が身近にあるため」(25.9%)、「通勤・通学に便利のため」、「住宅地の環境(街並みや景観など)が良いため」がそれぞれ20.9%で上位に挙げられている。

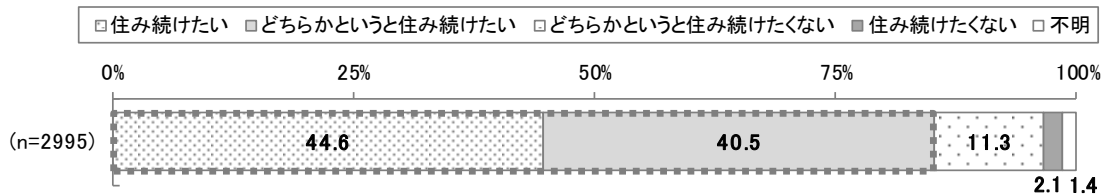
問3 栄区に住んだきっかけや理由はなんですか。(〇はいくつでも)



(2) 定住意向

- 「住み続けたい」と「どちらかというに住み続けたい」を合わせた現在の居住地に『住み続けたい』の割合は85.2%である。

問4 現在お住まいの地域に住み続けたいですか。

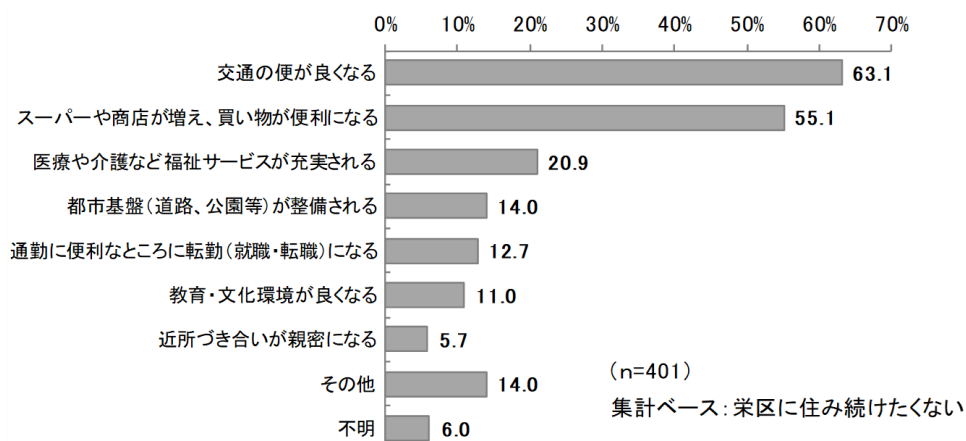


『住み続けたい』

(3) 住み続けたいと思うようになるのに必要なこと

- 「交通の便が良くなる」、「スーパーや商店が増え、買い物が便利になる」が5割を超え、他の項目を大きく上回る。

問4-1 住み続けたいと思うようになるには、どのようなことが必要とお考えになりますか。(〇は3つまで)

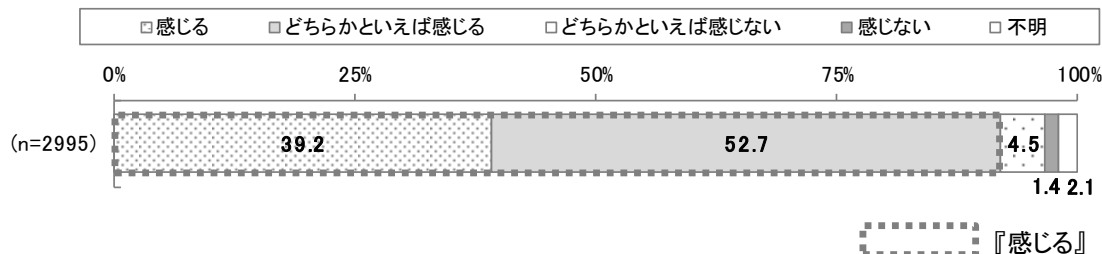


3. 生活意識

(1) 安全なまちだと感じるか

- 安全なまちだと「感じる」の割合は39.2%で、「どちらかといえば感じる」を合わせると91.9%が安全だと感じている。

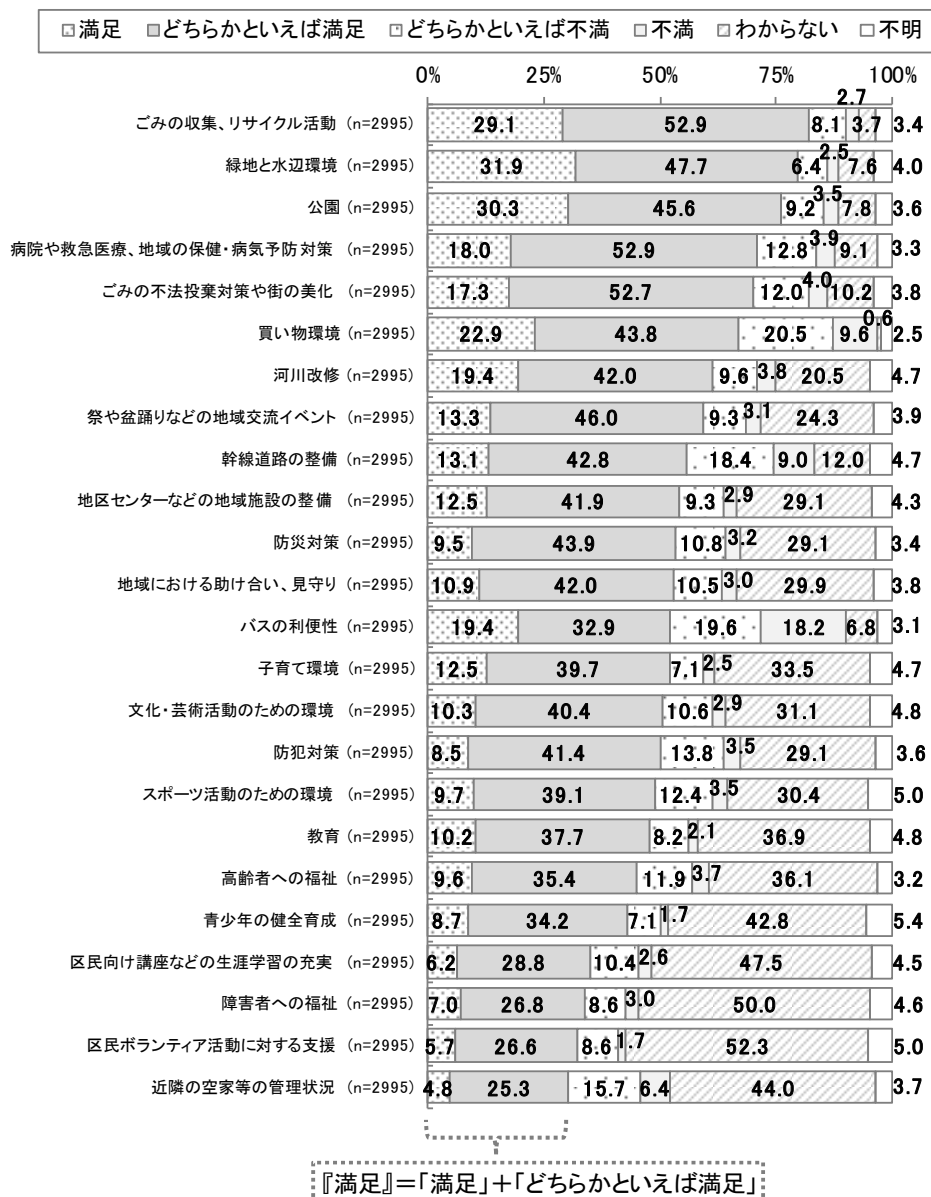
問5 栄区は安全・安心なまちだと感じますか。



(2) 生活環境への満足度

- 「満足」、「どちらかといえば満足」の合計が最も高いのは「ごみの収集、リサイクル活動」で、「緑地と水辺環境」、「公園」、「病院や救急医療、保健・病気予防対策」、「ごみの不法投棄対策や街の美化」、「買い物環境」の順に続く。

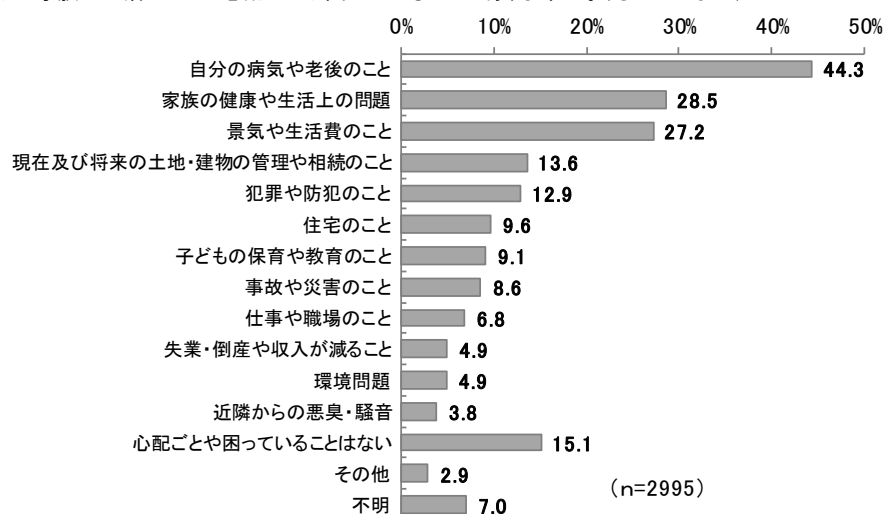
問6 現在の生活環境について、どの程度満足していますか。



(3) 心配ごとや困っていること

- 「自分の病気や老後のこと」(44.3%)が最も多く、「家族の健康や生活上の問題」(28.5%)、「景気や生活費のこと」(27.2%)が続く。

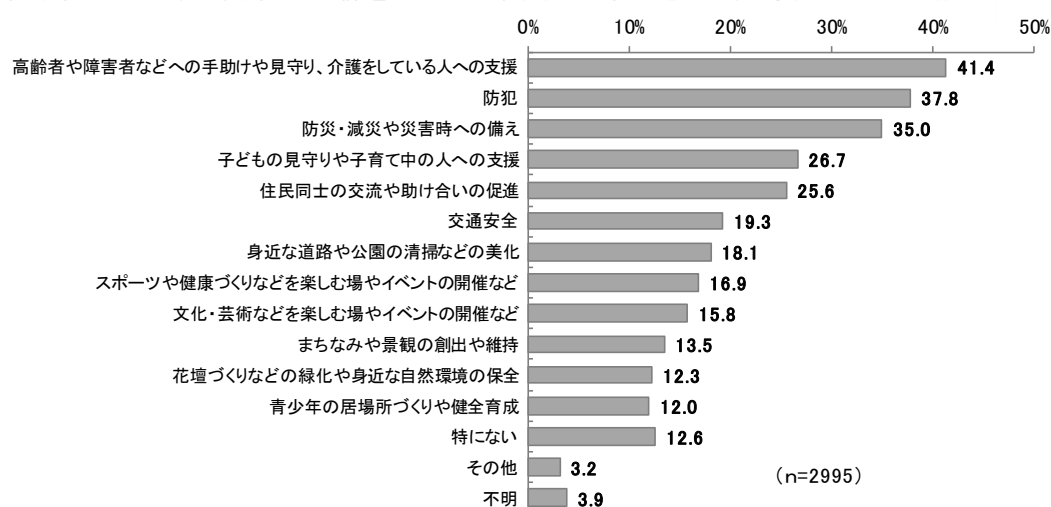
問7 ご自身やご家族の生活のことで心配ごとや困っていることがありますか。(〇は3つまで)



(4) 取り組むべき課題

- 「高齢者や障害者などへの手助けや見守り、介護をしている人への支援」(41.4%)が最も多く、「防犯」(37.8%)、「防災・減災や災害時への備え」(35.0%)が続く。

問8 お住まいの地域で取り組むべき課題にはどのようなものがあると思いますか。(〇はいくつでも)

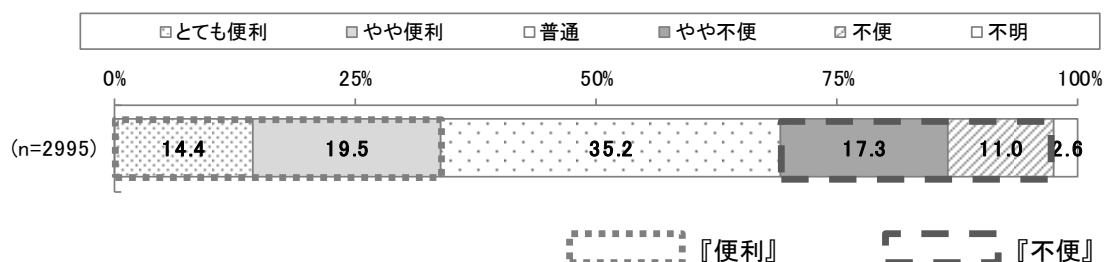


4. 道路・交通について

(1) 道路・交通について

- 『便利』(「とても便利」、「やや便利」の合計)は33.9%で、『不便』(「やや不便」、「不便」の合計)との回答(28.3%)を上回っている。

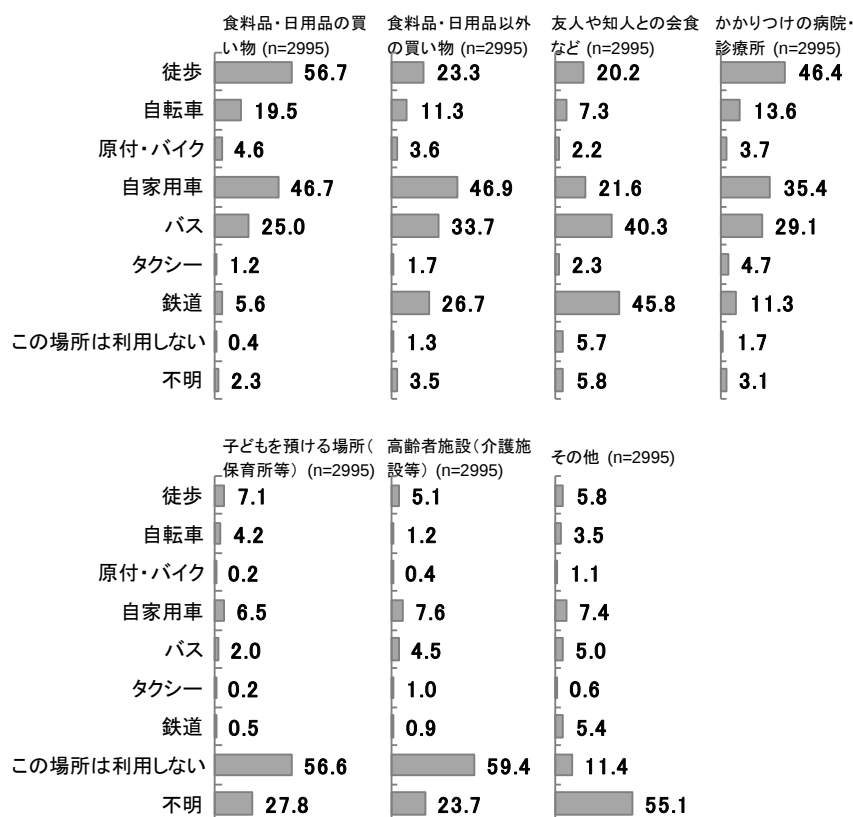
問9 お住まいの地域の道路・交通環境や利便性はいかがですか。



(2) よく利用するまでの主な交通手段

- 「食料品・日用品の買い物」「かかりつけの病院・診療所」までの交通手段としては徒歩が最も多く、「食料品・日用品以外の買い物」では自家用車、「友人や知人との会食など」では鉄道が最も多く使われている。

問10 よく利用する場所までの主な交通手段は何ですか。(〇はいくつでも) (%)

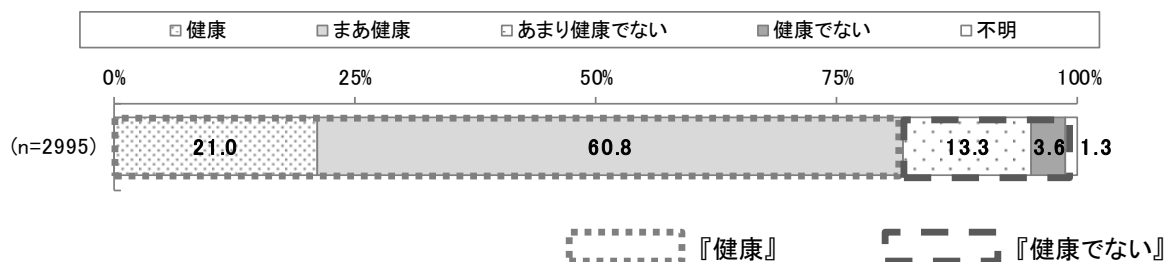


5. 健康福祉について

(1) 健康状態

- 「健康」、「まあ健康」の合計『健康』の割合は8割を超え、「あまり健康でない」、「健康でない」の合計『健康でない』を大きく上回る。

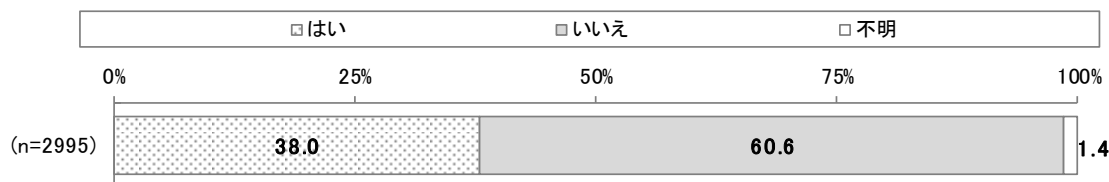
問11 現在のご自身の健康状態について、どのように思いますか。



(2) 「息がはずみ汗をかく程度」の運動の実施状況

- 「いいえ」が60.6%で、「はい」(38.0%)を大きく上回る。

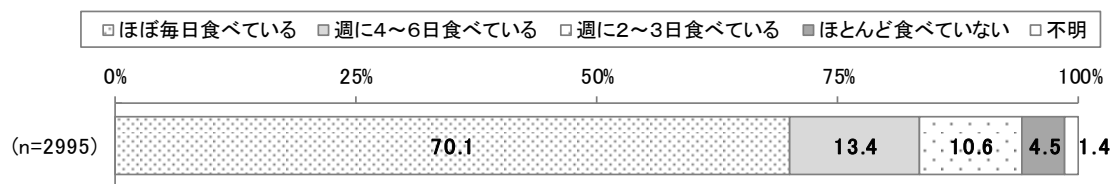
問12 この1年間で、「息がはずみ汗をかく程度」の運動を、1日30分以上、週に2回以上やっていますか。



(3) 1日2回以上の食事

- 「ほぼ毎日食べている」が70.1%で、「ほとんど食べていない」は4.5%である。

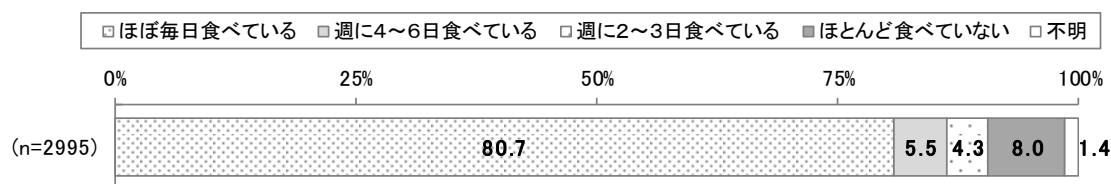
問13 1日2回以上、主食・主菜・副菜すべてを食べるのは週に何回ありますか。



(4) 朝食

- 「ほぼ毎日食べている」が80.7%で、「ほとんど食べていない」は8.0%である。

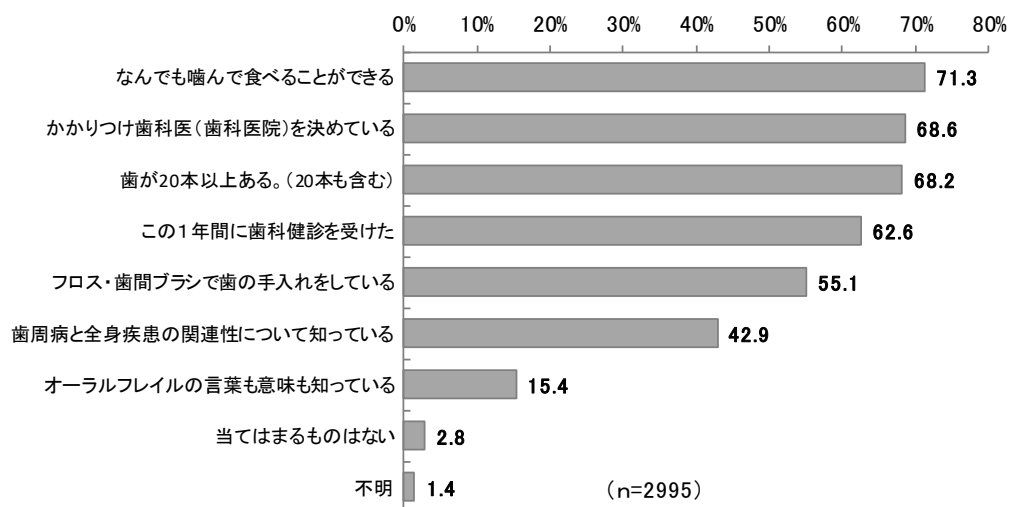
問14 朝食を週にどのくらい食べていますか。



(5) 歯やお口について

- 「なんでも噛んで食べることができる」(71.3%)、「かかりつけ歯科医(歯科医院)を決めている」(68.6%)、「歯が20本以上ある。(20本も含む)」(68.2%)が上位に挙げられている。

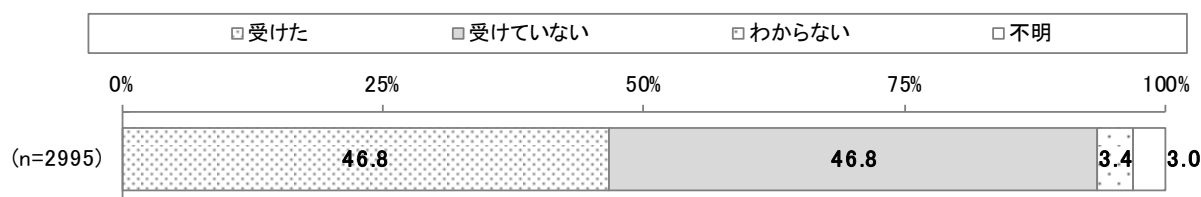
問15 歯やお口について当てはまるものすべてをお選びください。(〇はいくつでも)



(6) がん検診

- 「受けている」、「受けていない」との回答は同数で、ともに46.8%である。

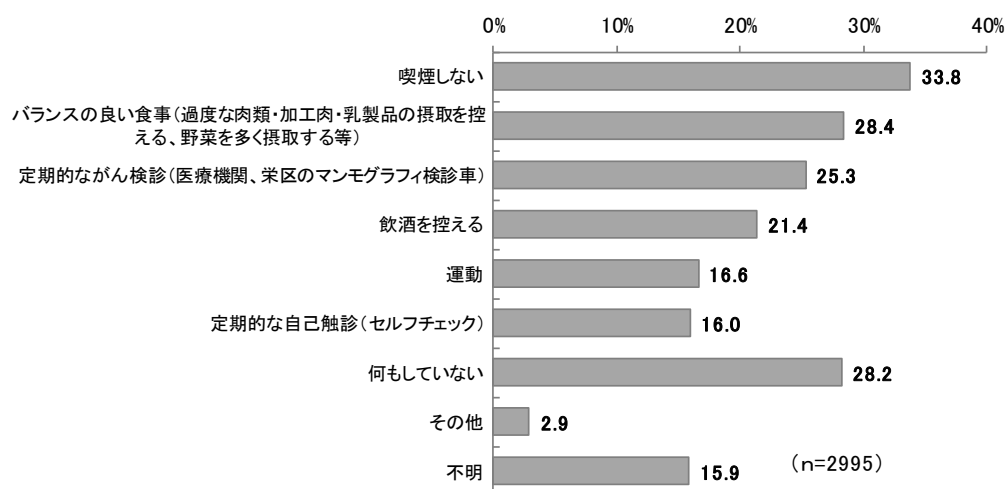
問16 令和3～4年度に、がん検診を受けましたか。



(7) 乳がん予防・早期発見

- 「喫煙しない」(33.8%)が最も多く、「バランスの良い食事(過度な肉類・加工肉・乳製品の摂取を控える、野菜を多く摂取する等)」(28.4%)が続く。
- 一方で「何もしていない」(28.2%)は3割弱となっている。

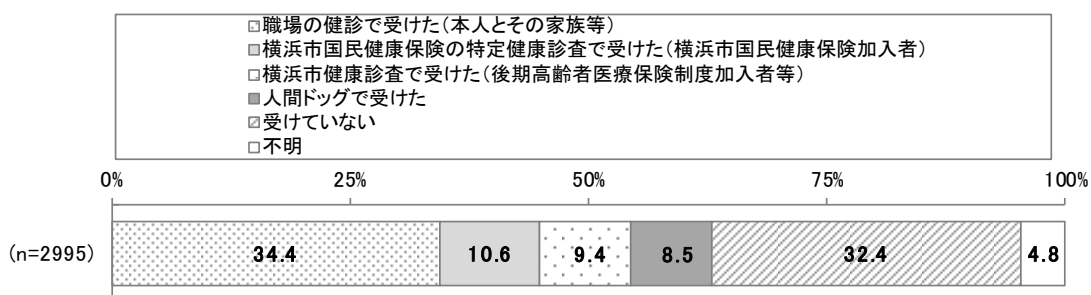
問17 乳がん予防・早期発見のためにやっていることはありますか。(〇はいくつでも)



(8) 生活習慣病の早期発見・重症化予防のための健康診断

- 『受けた』(「職場の健診で」「横浜市国民健康保険の特定健康診査で」「横浜市健康診査で」「人間ドッグで」の合計)は6割を超える。

問18 令和4年度に、生活習慣病の早期発見・重症化予防のために健康診断を受けていますか。

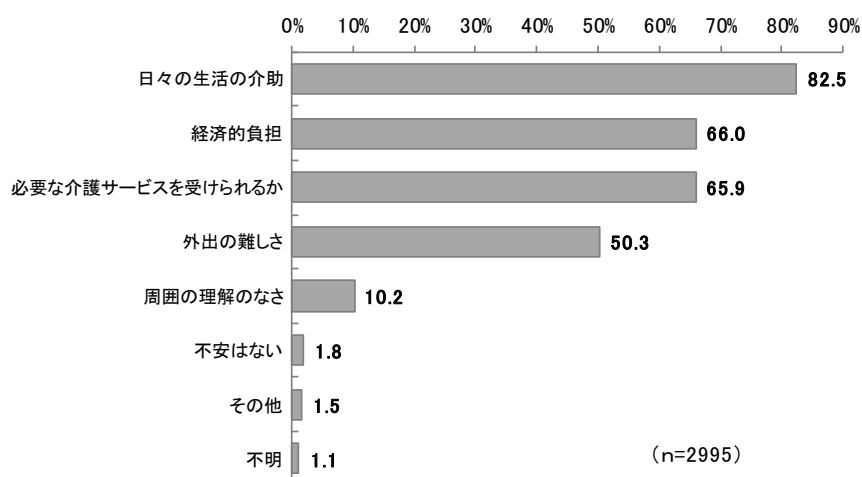


『受けた』

(9) 介護に対する不安

- 「日々の生活の介助」(82.5%)が最も多く、「経済的負担」(66.0%)、「必要な介護サービスを受けられるか」(65.9%)が続く。

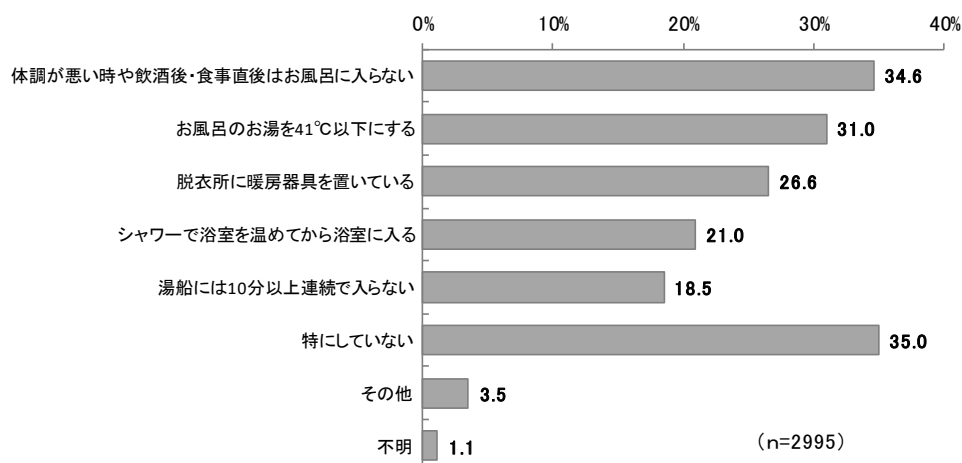
問19 ご自身やご家族が病気や障害で介護が必要な状況だったとしたら、どんなことが不安だと思いますか。(〇はいくつでも)



(10) 「ヒートショック」対策について

- 「体調が悪い時や飲酒后・食事直後はお風呂に入らない」(34.6%)が最も多く、「お風呂のお湯を41℃以下にする」(31.0%)、「脱衣所に暖房器具を置いている」(26.6%)が続く。

問20 「ヒートショック」の対策をしていますか。(〇はいくつでも)

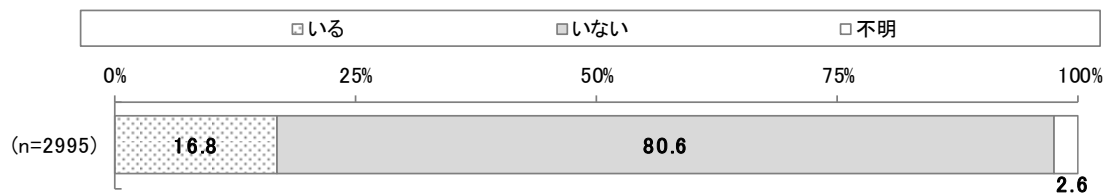


6. 子育てについて

(1) 18歳未満の子どもの有無

- 「いる」は16.8%、「いない」は80.6%である。

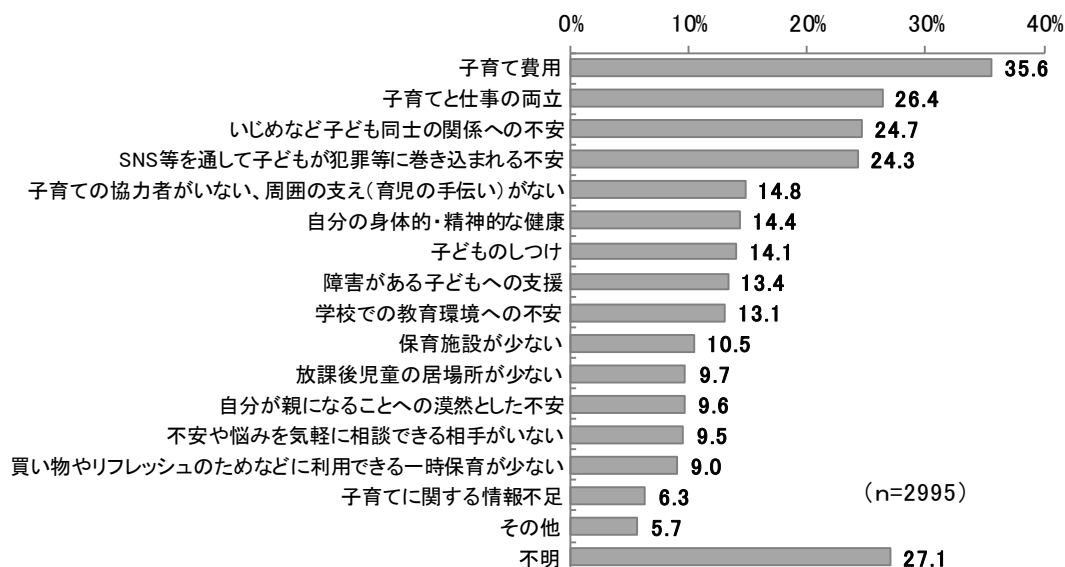
問21 18歳未満のお子様がいいますか。



(2) 子育てについての課題や不安

- 「子育て費用」(35.6%)が最も多く、「子育てと仕事の両立」、「いじめなど子ども同士の関係への不安」、「SNS等を通して子どもが犯罪等に巻き込まれる不安」が2割を超え上位に挙げられている。

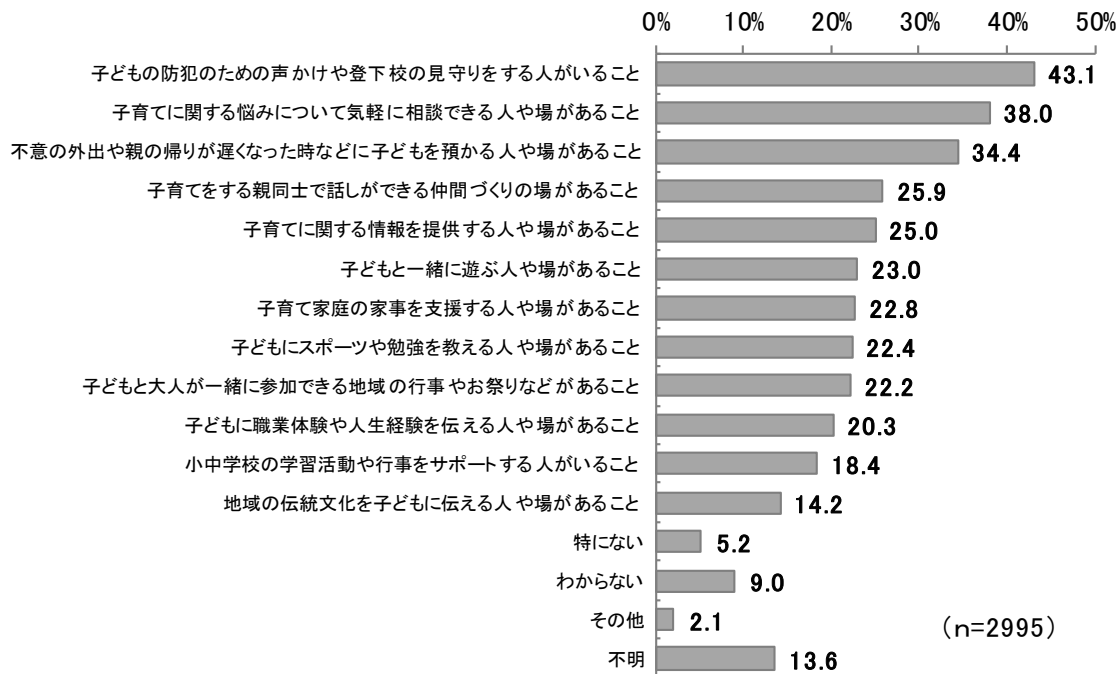
問22 子育てについて、課題や不安となることは何だと思いますか。(〇はいくつでも)



(3) 地域で子育てを支えるために重要なこと

- 「子どもの防犯のための声かけや登下校の見守りをする人がいること」(43.1%) が最も多く、「子育てに関する悩みについて気軽に相談できる人や場があること」(38.0%)、「不意の外出や親の帰りが遅くなった時などに子どもを預かる人や場があること」(34.4%) が3割を超え上位に挙げられている。

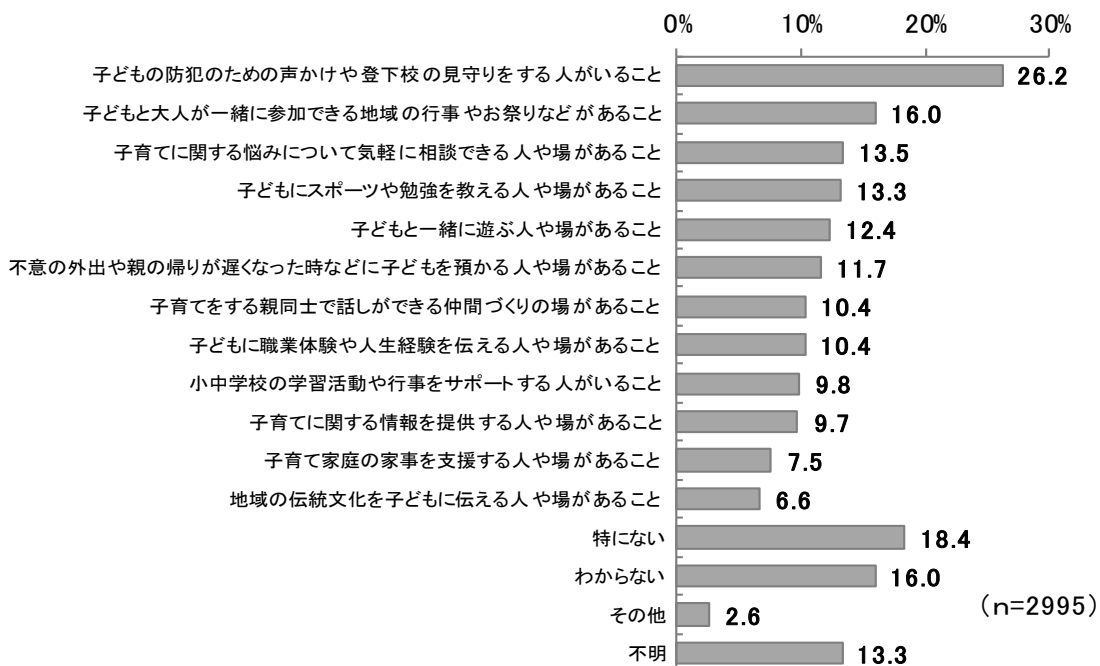
問23 「地域で子育てを支えるために重要なこと」と考えることは何ですか。(〇はいくつでも)



(4) 参加してもいいと考える「地域で子育てを支えるための活動」

- 「子どもの防犯のための声かけや登下校の見守りをする人がいること」(26.2%) が最も多く、「子どもと大人と一緒に参加できる地域の行事やお祭りなどがあること」(16.0%) が続く。

問24 参加してもいいと考える「地域で子育てを支えるための活動」は何ですか。(〇はいくつでも)

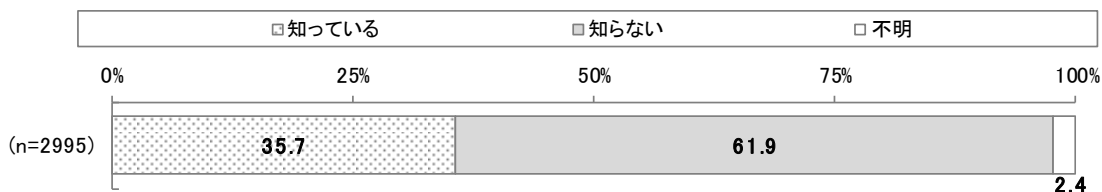


7. 防災について

(1) 災害時に緊急度・重症度に応じて医療機関を選択することについての認知度

- 「知っている」は35.7%、「知らない」は61.9%である。

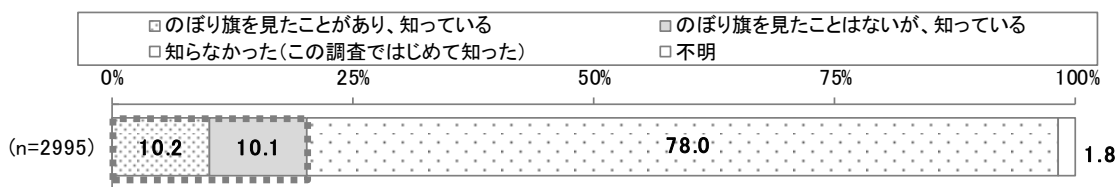
問25 災害時、受診の際にケガ等の緊急度・重症度に応じて医療機関を選択する必要があることを知っていますか。



(2) のぼり旗を掲出することの認知

- のぼり旗を掲出することを「知らなかった（この調査ではじめて知った）」の割合は78.0%である。「のぼり旗を見たことがあり、知っている」、「のぼり旗をみたことはないが、知っている」を合わせた『知っている』の割合は20.3%である。

問26 災害時、診療可能な医療機関は、のぼり旗（イエローフラッグ）を掲出することを知っていますか。

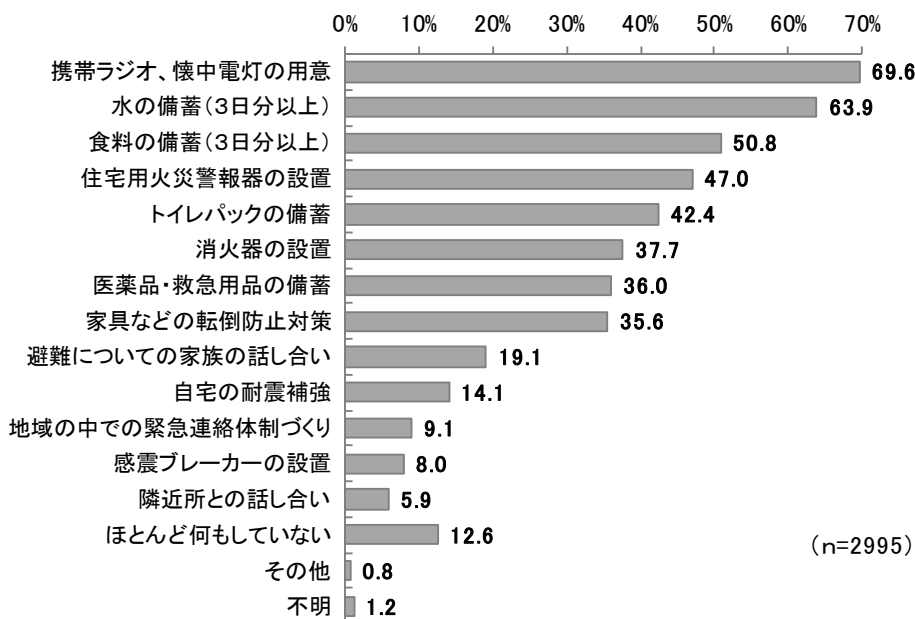


『知っている』

(3) 災害に対する備え

- 「携帯ラジオ、懐中電灯の用意」（69.6%）が最も多く、「水の備蓄」（63.9%）、「食料の備蓄」（50.8%）が続く。

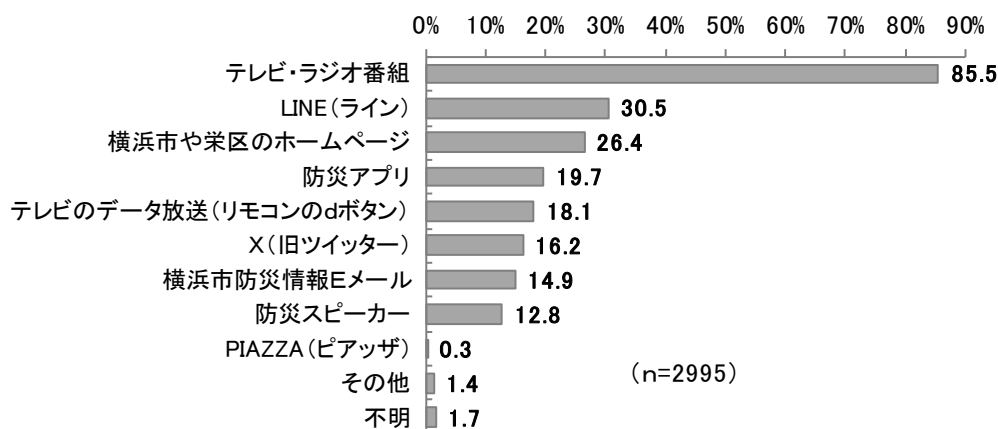
問27 あなたの家では、震災等の災害に対する備えをしていますか。（○はいくつでも）



(4) 災害時の避難情報の入手手段

- 「テレビ・ラジオ番組」(85.5%) が最も多く、他を大きく引き離している。次いで「LINE(ライン)」(30.5%)、「横浜市や栄区のホームページ」(26.4%)が続く。

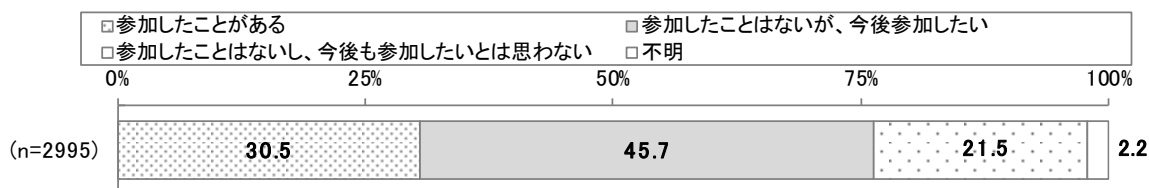
問28 災害時の避難情報(避難指示など)をどのような手段で入手しますか。(〇はいくつでも)



(5) 防災訓練への参加

- 「参加したことがある」は30.5%で、「参加したことはないが、今後参加したい」は45.7%である。一方、「参加したことはないし、今後も参加したいとは思わない」は21.5%である。

問29 令和3～4年度に防災訓練に参加したことがありますか。

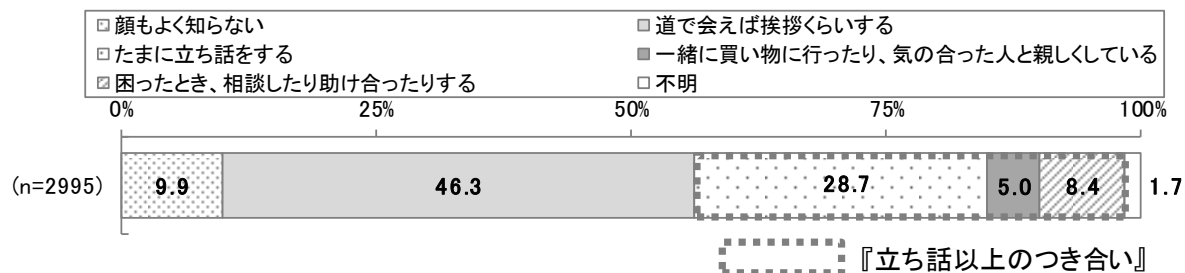


8. 地域のつながりについて

(1) 隣近所とのつき合い方

- 「道で会えば挨拶くらいする」は46.3%、「たまに立ち話をする」は28.7%である。『立ち話以上のつき合い』(「たまに立ち話をする」、「一緒に買い物に行ったり、気の合った人と親しくしている」、「困ったとき、相談したり助け合ったりする」の合計)は42.1%である。

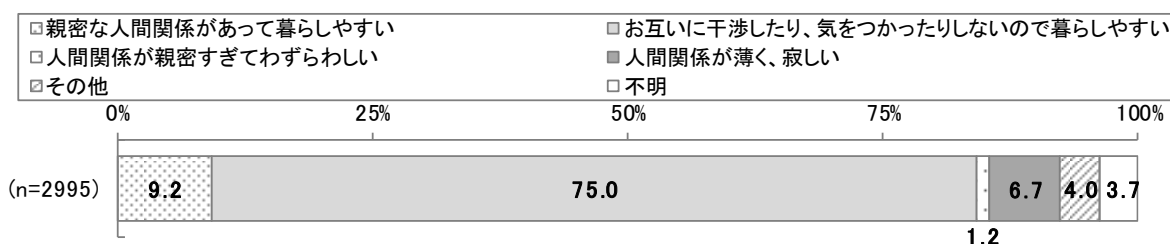
問30 あなたは、隣近所とどのようなつき合い方をしていますか。



(2) 隣近所のつき合いについて感じる事

- 「お互いに干渉したり、気をつかったりしないので暮らしやすい」と感じている割合が75.0%で最も高い。「親密な人間関係があって暮らしやすい」は9.2%である。「人間関係が薄く、寂しい」と感じている人は6.7%となっている。

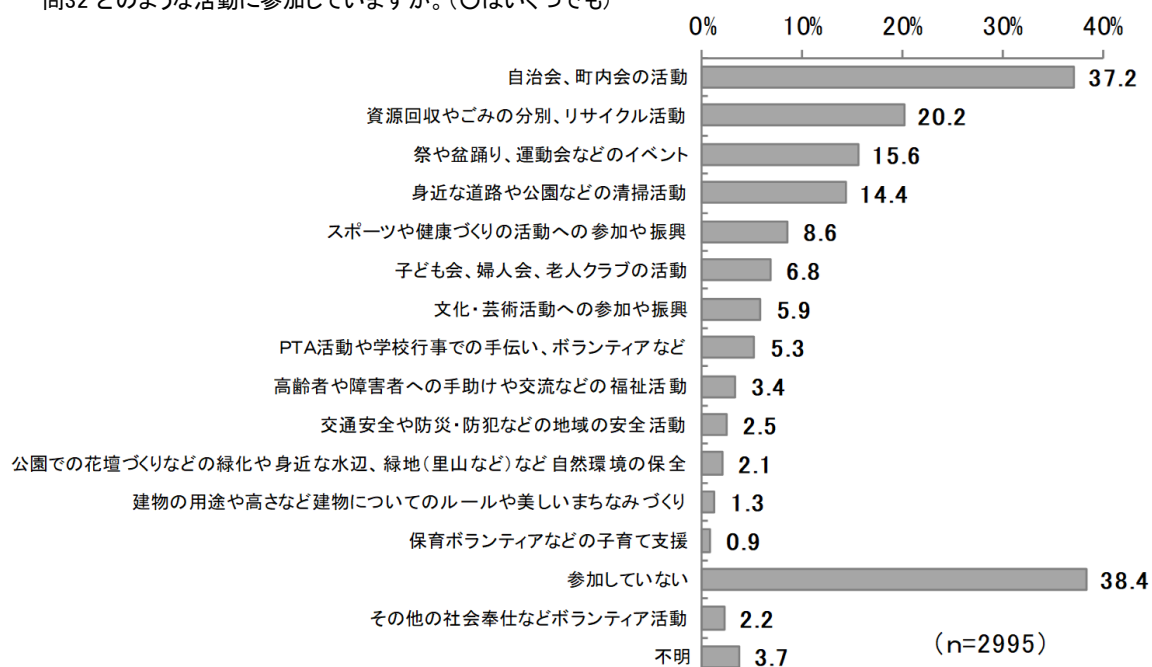
問31 隣近所とのつき合いについてどのように感じていますか。



(3) 地域活動への参加

- 「参加していない」(38.4%)を除くと、「自治会、町内会の活動」(37.2%)が最も多く、「資源回収やごみの分別、リサイクル活動」(20.2%)、「祭や盆踊り、運動会などのイベント」(15.6%)、「身近な道路や公園などの清掃活動」(14.4%)の順に続く。

問32 どのような活動に参加していますか。(〇はいくつでも)

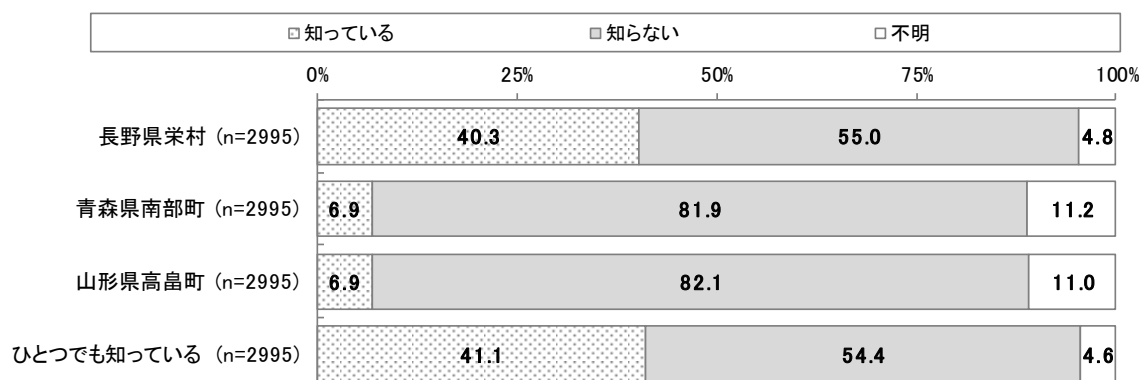


9. 友好交流都市について

(1) 栄区の友好交流都市の認知度

- 「長野県栄村」は40.3%、「青森県南部町」は6.9%、「山形県高畠町」は6.9%である。また、どれかひとつでも知っている割合は、41.1%である。

問33 栄区の友好交流都市を知っていますか。

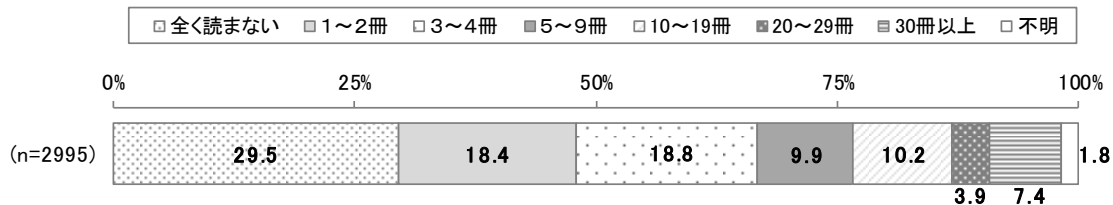


10. 読書について

(1) 1年間に読む本

- 「全く読まない」(29.5%)が最も多く、「3～4冊」(18.8%)、「1～2冊」(18.4%)が続く。

問34 過去1年間に何冊くらい本(電子書籍を含む)を読みましたか。※雑誌、漫画を除く

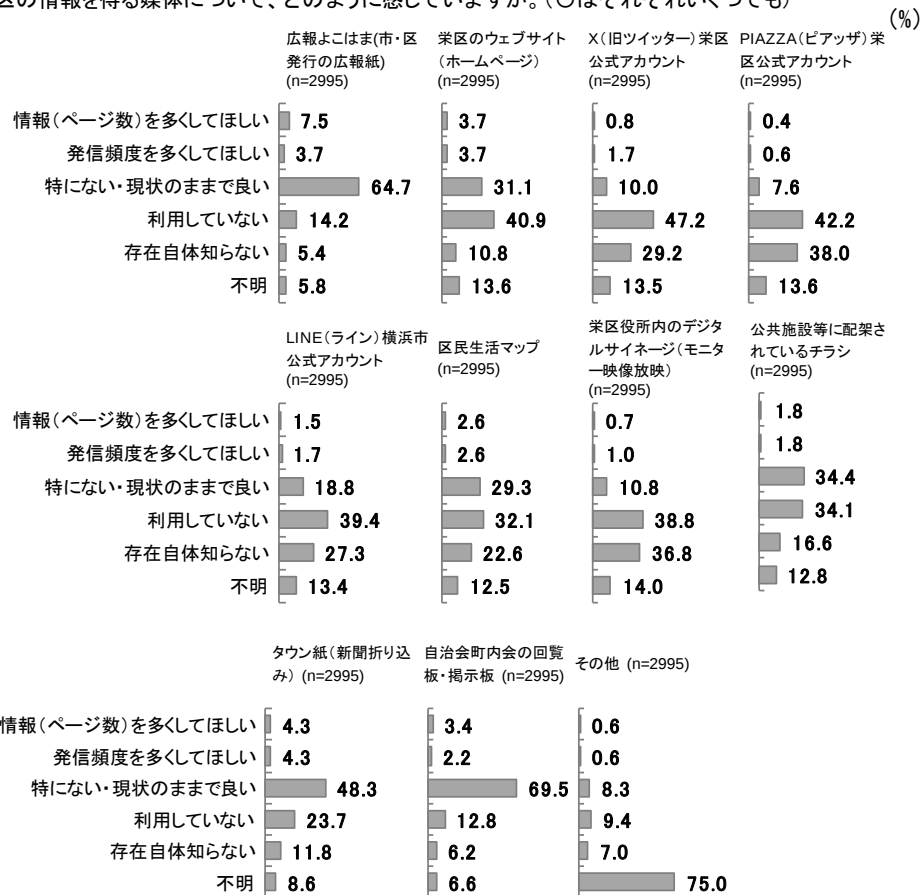


11. 広報について

(1) 栄区の情報を得る媒体について感じていること

- 「広報よこはま」と「自治会町内会の回覧板・掲示板」については「特にない・現状のままで良い」が圧倒的に多く6割を超えている。

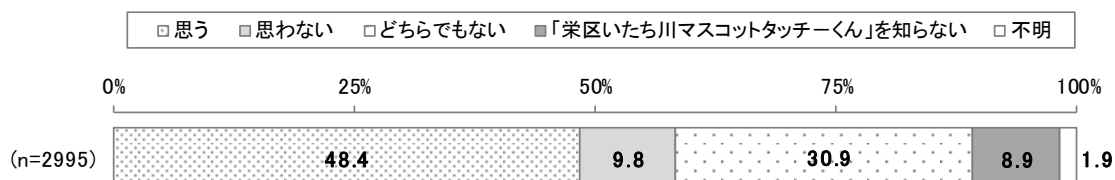
問35 栄区の情報を得る媒体について、どのように感じていますか。(〇はそれぞれいくつでも)



(2) 「タッチーくん」の貢献度について

- 「思う」(48.4%)が最も多く、「どちらでもない」(30.9%)が続く。

問36 「タッチーくん」が栄区の魅力発信に貢献していると思いますか。

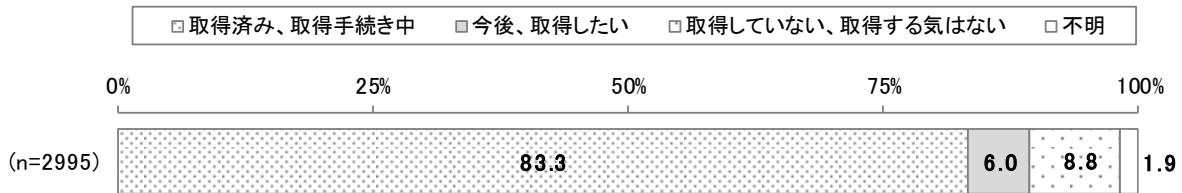


12. マイナンバーカードについて

(1) マイナンバーカードの取得状況

- マイナンバーカードの取得率(取得済み、取得手続き中)は83.3%、「今後取得したい」は6.0%、「取得する気はない」が8.8%である。

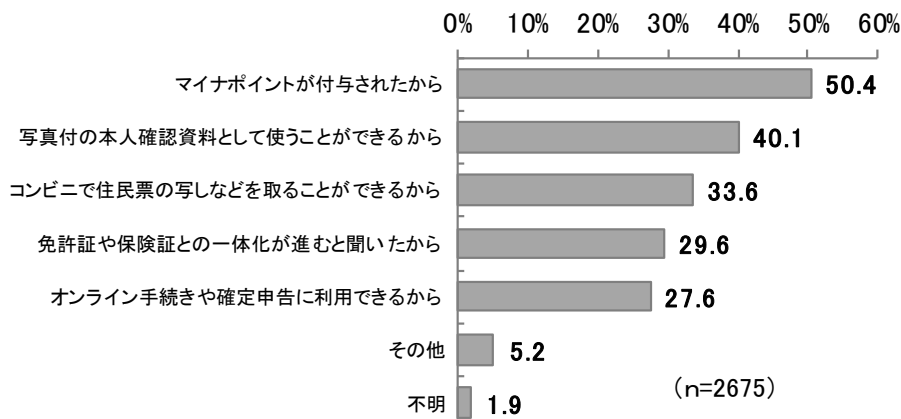
問37 マイナンバーカードを取得しましたか。



(2) マイナンバーカードを取得した、または取得したい理由

- 「マイナポイントが付与されたから」(50.4%)が最も多く、「写真付の本人確認資料として使うことができるから」(40.1%)が続く。

問37-1 マイナンバーカードを取得した、または取得したい理由は何ですか。(〇はいくつでも)

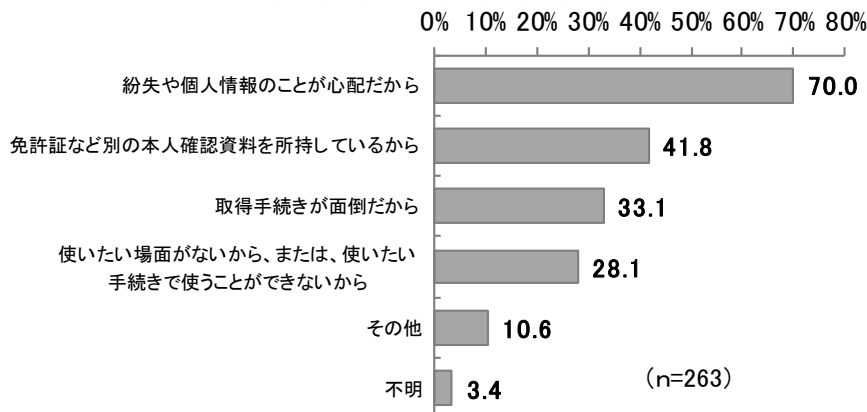


集計ベース:「取得済み、取得手続き中」、「今後取得したい」

(3) マイナンバーカードを取得していない、取得する気はない理由

- 「紛失や個人情報のことが心配だから」(70.0%)が最も多く、「免許証など別の本人確認資料を所持しているから」(41.8%)が続く。

問37-2 マイナンバーカードを取得していない、取得する気はない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

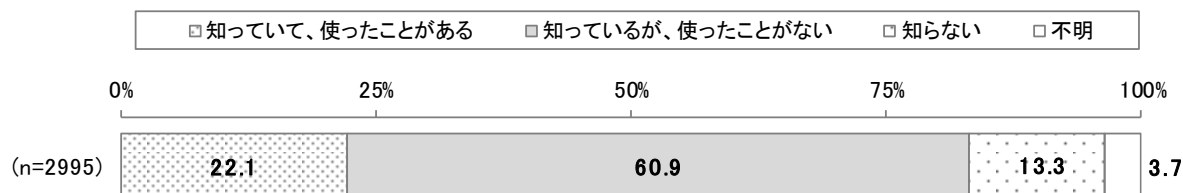


集計ベース:「取得していない、取得する気はない」

(4) マイナンバーカードを活用したコンビニ交付サービスの利用

- 「知っているが、使ったことがない」(60.9%) 最も多く、「知っていて、使ったことがある」は22.1%である。

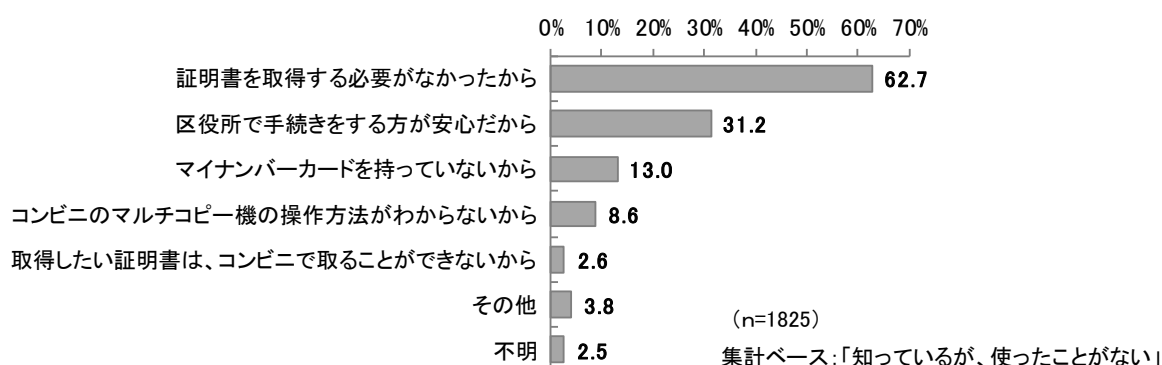
問37 コンビニ交付サービスを使ったことがありますか。



(5) コンビニ交付サービスを知っているが、使ったことがない理由

- 「証明書を取得する必要がなかったから」(62.7%) が最も多く、「区役所で手続きをする方が安心だから」、「マイナンバーカードを持っていないから」の順に続く。

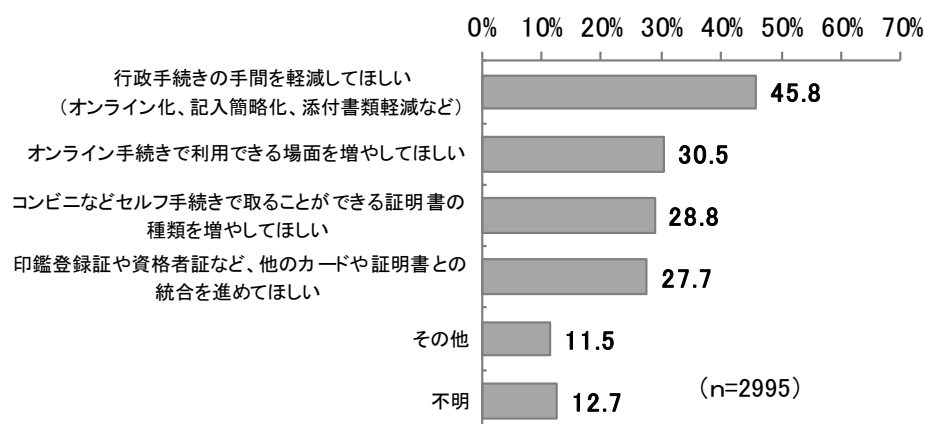
問38-1 コンビニ交付サービスを知っているが、使ったことがない理由は何ですか。(〇はいくつでも)



(6) マイナンバーカードに期待される機能

- 「行政手続きの手間を軽減してほしい(オンライン化、記入簡略化、添付書類軽減など)」(45.8%) が最も多く、「オンライン手続きで利用できる場面を増やしてほしい」、「コンビニなどセルフ手続きで取ることができる証明書の種類を増やしてほしい」、「印鑑登録証や資格者証など、他のカードや証明書との統合を進めてほしい」の順に続く。

問39 マイナンバーカードにどのような機能を期待しますか。(〇はいくつでも)

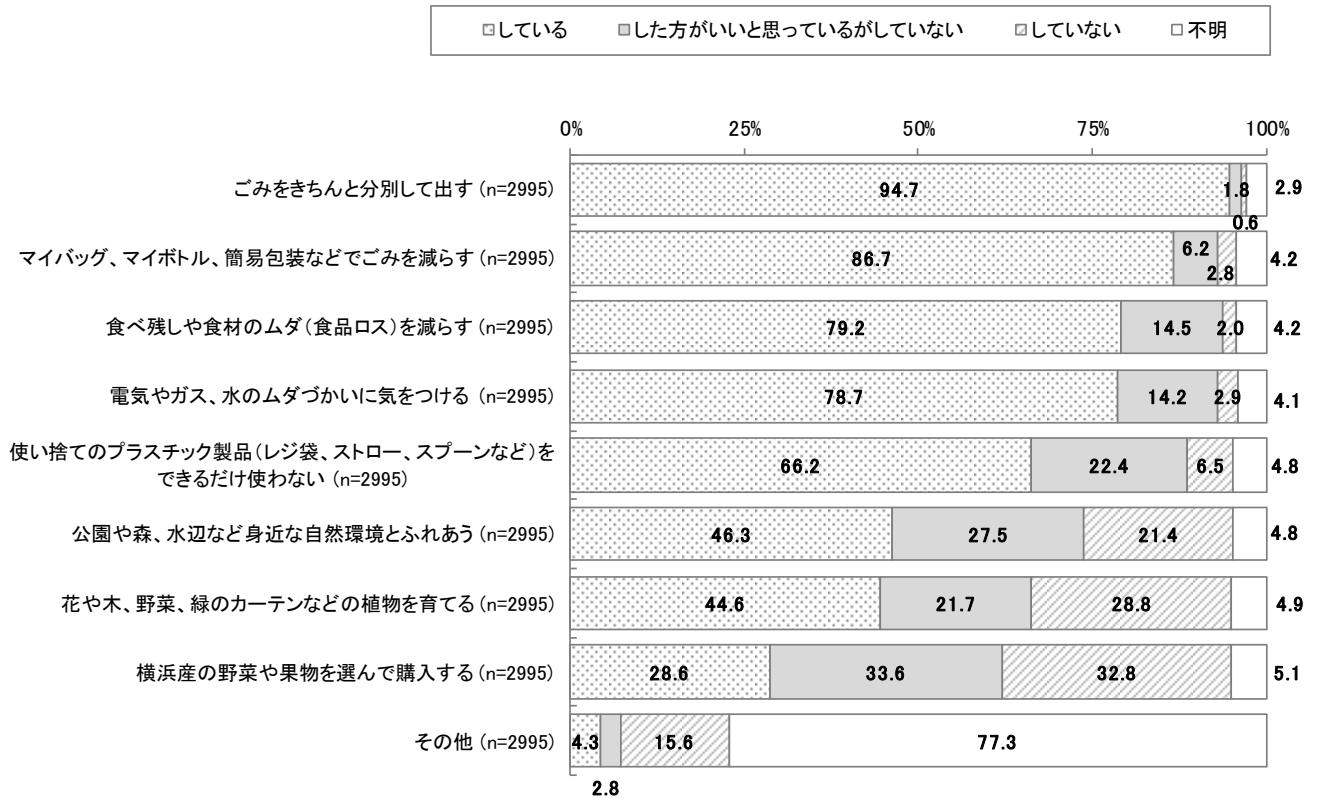


1.3. 環境行動について

(1) 環境行動の実践

- 「している」の割合は、「ごみをきちんと分別して出す」(94.7%)が最も多く、「マイバッグ、マイボトル、簡易包装などでごみを減らす」(86.7%)、「食べ残しや食材のムダ(食品ロス)を減らす」(79.2%)、「電気やガス、水のムダづかいに気をつける」(78.7%)の順に続く。

問40 普段、次にあげる個人でできる環境にやさしい行動(=「環境行動」)をしていますか。



(2) 環境行動を始めたきっかけ

- 「テレビや新聞のニュース」(42.8%)が最も多く、「自治会町内会の回覧板・掲示板」(25.7%)、「広報よこはま(市・区役所発行の広報紙)」(22.1%)の順に続く。

問40-1 その環境行動を始めたきっかけはなんですか。(〇はいくつでも)

